

# キャラバンテント

要保管

caravan japan instant canopies

## 梱包内容

- 本体フレーム……………×1
- 本体収納バック……………×1
- 天幕……………×1
- 天幕収納袋……………×1
- ペグ……………×4
- ペグ収納袋……………×1
- ロープ……………×4



このたびは、本品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にお使いいただくために、ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、本書に掲げる使用方法に従い、  
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

またお読みになった後はいつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

本品を安全にお使いいただくために、下記の要領を必ずお守りください。

※なお、誤った取扱方法や使用状況、また改造等による破損・損害・事故、および経年劣化等による各部の劣化・損傷・サビや腐食の発生につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

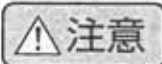
## 安全上のご注意

### ● シグナルマークの定義 ●



警告

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

### ● 警告ラベルについて ●

本品のフレームには、右図のような警告ラベルが貼り付けられています。警告ラベルの貼り付け箇所を確認し、要項を守ってご使用ください。また、万一警告ラベルが剥がれてしまった場合は、ラベルをご購入いただき、再度貼り付けてください。



「警告ラベル」

## 使用条件

### ● 使用環境 ●



①大雨、強風、突風、雪、雷などの天候不順時、または設営期間中にそれが予想される場合には危険ですので使用しないでください。テント本体が倒れたり、飛ばされたり、水が溜まる等の恐れがある上、人が傷害を負ったり、物を破損させる原因となります。また、降雪時には雪が積もり倒壊する恐れがありますので使用しないでください。



②使い勝手を良くする為、天幕には軽量で薄手の生地を使用しております。その為、過度の負担がかかる環境での設置や使用方法によりテントの寿命を著しく縮める場合がございますのでご了承ください。

### ● 用途 ●



①本品を常設用として使用しないでください。本品は、一時的かつ簡易的に使用することを目的とした構造となっているため、常設用として使用した場合、思わぬ事故につながる可能性があります。また、簡易目的用とした構造のため、完全な雨除けとしてはご利用いただけません。縫製部分より水が入る可能性がありますのでご了承ください。



②本品を改造したり加工したりしないでください。改造・加工による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。



③本品には、絶対登らないでください。また、ぶら下がったり、物を吊したりする等、過度の負担を掛けるような行為はしないでください。倒壊や破損につながり非常に危険です。

### ● 取扱上の注意 ●



①設営時にはテントが水平になるように設置し、必ず「ロープ」と「ペグ」、または別売りの「砂袋」「加重プレート」「ウォーターウェイト」等でテント支柱を固定し、はりつなをしっかりと取り付けて下さい。また、固定した後も、突風による本体の倒壊や、人が傷害を負ったり、物を破損させる恐れがあります。



②本品を使用の際は、無人で放置しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



③本品に電源や火気類を近づけないでください。フレームには金属を使用しており、感電の危険があります。また、天幕の素材には、難燃性のポリエステルを使用しておりますが、破損や火災発生の原因となります。



④ご使用前に、本取扱説明書をご理解いただいた上で、必ず一度組み立てテストを行ってください。その際、付属品の不足、不良等が発見された場合は、お求めになった販売店へお申し付けください。また本テントの使用、保管はお客様にて管理して下さい。当社では一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。



⑤設営前に、設営場所が本取扱説明書の使用条件を満たしていることをご確認ください。



⑥設営・収納作業時には、トラス部分(ジャバラ状の骨組み)、スライド部分、ストッパー部分に手や指をはさむ恐れがありますので、作業時は軍手等を着用し、ケガや事故のないよう十分に注意しながら作業を行ってください。



⑦設営・収納作業は安全のため、必ず大人2人以上で行ってください。また、フレームを設営、撤収する際は負荷が掛かりますので、無理せずゆっくり行って下さい。変形や破損する恐れがあります。



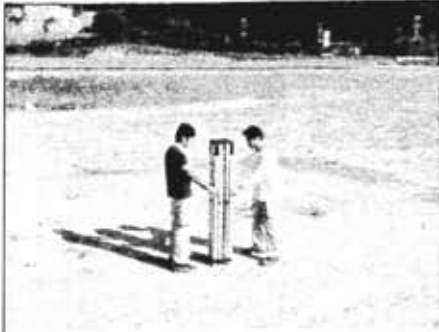
⑧本品は、鉄・アルミパイプを使用しているため、足元に落としたり、手や指等をはさむと大変危険です。取り扱いには十分ご注意ください。



⑨テントは、たるみがなく「ピン」と張った状態で使用し、天幕に水が溜まらないよう十分に注意してください。天幕に水が溜りますと、天幕の寿命を縮める他、フレームが曲がったり、倒壊の危険があります。

# テントの設置方法

## 組み立て方法



① 四隅のフレームを持ち少し浮かせながら左右に広げます。



② 下側のV字部分を持ち上げながら外側に引っ張り、フレームを半ばまで広げます。



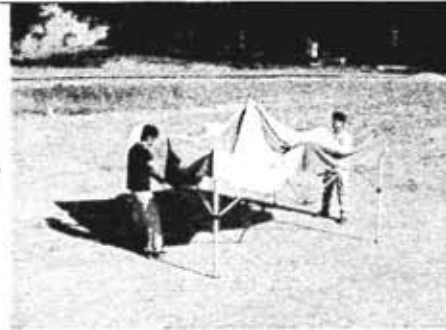
③ 天幕を袋から出しフレームにかぶせます。



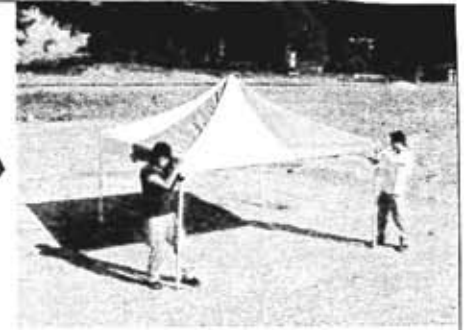
④ 天幕とフレームの四隅のマジックテープを合わせます。



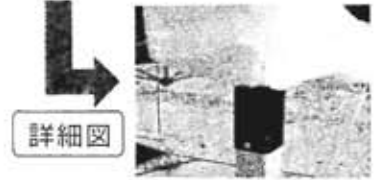
詳細図



⑤ さらに下側のV字部分を持ち上げながら外側に引っ張り、フレームを一杯まで広げます。



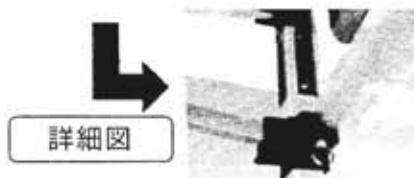
⑥ 四隅の天幕を少しめくり上げます。



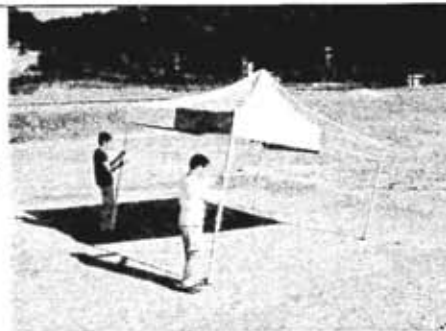
詳細図



⑦ それぞれの脚のスライダーをストッパーの部分まで「パチン」と音がするまで押し上げます。



詳細図



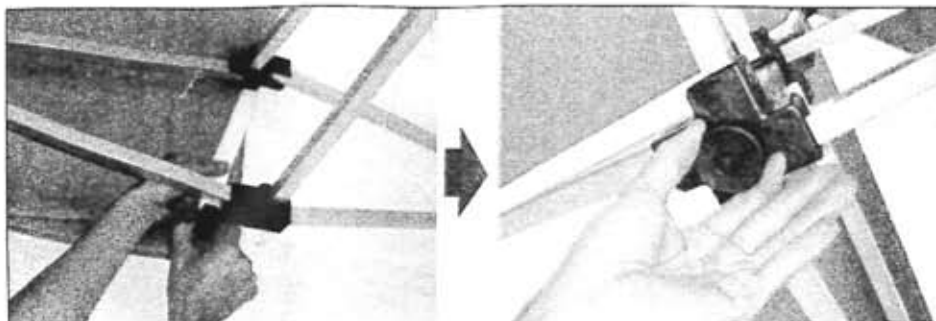
⑧ 天幕を戻し、ベースを足で踏みながらボタンがひとつ目の穴に「パチン」と音がするまで伸ばします。



⑨ 反対側の脚も同じように伸ばし、お好みの高さに調節してください。

ロックがかかりにくい場合は天幕の角部を1度外してから押し上げてください。

次ページ⑩へ



⑩ 天幕に付いているゴムフックをフレームのトラスに引っ掛けます。

⑪ ビークボールの下に付いているダイヤルを回し天幕の張りを調整します。



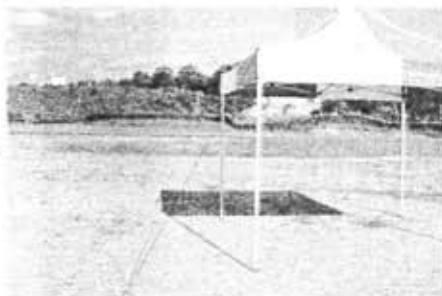
—— ●ここまで完成した時点で次の事柄を確認し、異常があれば補修、もしくはご使用を中止してください● ——

- ・天幕の破れ、フレームの曲がり、ボルトの緩み等の異常箇所。
- ・天幕とフレームのマジックテープの張り付き具合。
- ・天幕は雨水が溜まらないようピンと張れているか。
- ・フレームの各ストッパーがきちんと止まっているか。

## テントの固定方法



天幕の四隅にあるプラスチックの止め具にしっかりとロープを結ぶ。



抗をテントの対角線上にしっかり根元まで打ち込みます。

抗をロープに対して直角になるように打ち込んでください。



地面が硬く抗を使用出来ない場合は加重プレート・砂袋・ウォーターウェイト等の別売オプション品をご利用ください。

ロープを張るスペースが無い場合は脚のパッドの穴に抗をしっかりと打ち込みます。

## テントの収納方法

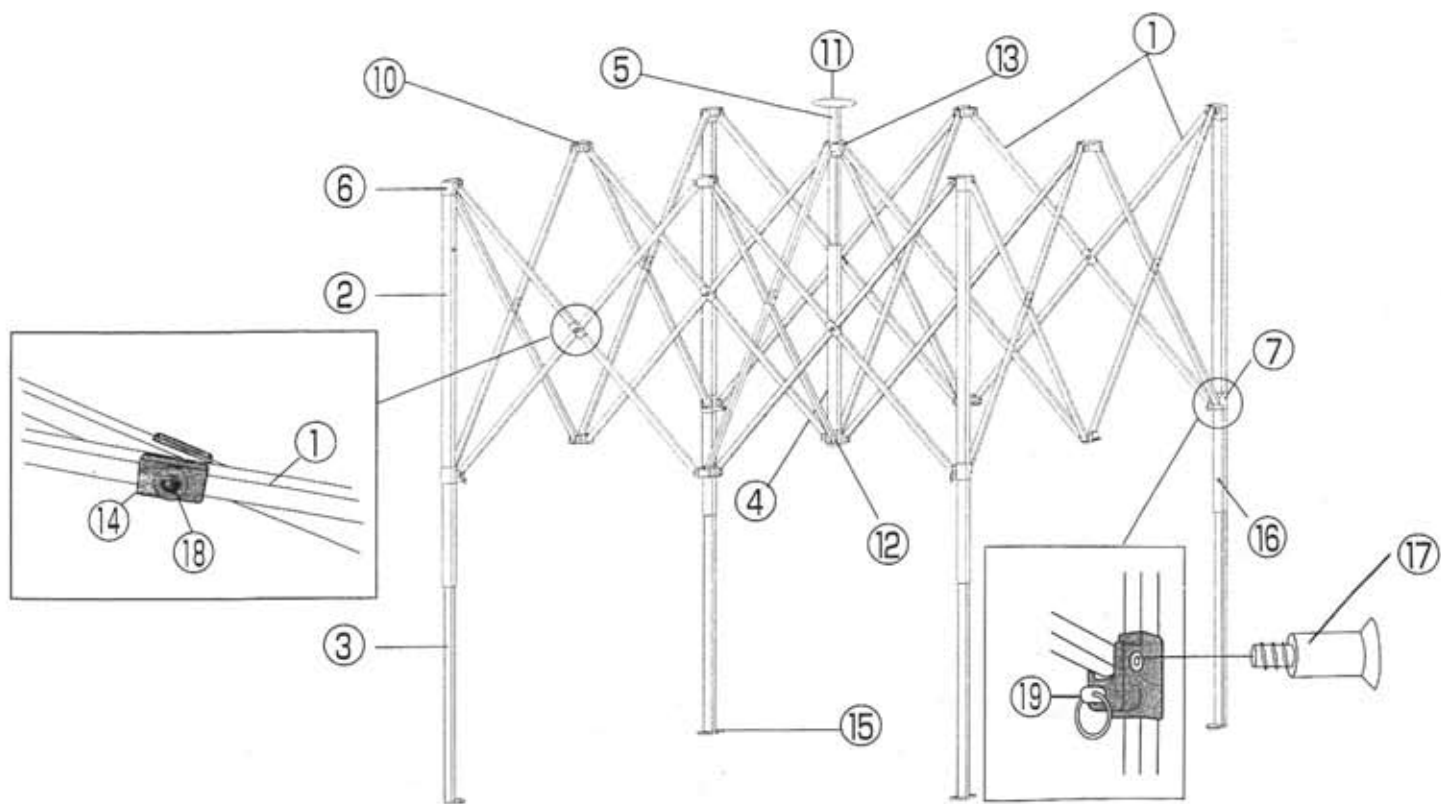
1. 風対策用品（オプション）を外し、抗を抜いてください。
2. テントの脚を一番下までスライドさせてください。
- ⚠️注意 ストッパーを解除する際は柱部を少し持ち上げながらボタンを押し込みゆっくりと長さを縮めてください。
3. 天幕に結んだロープをほどき、天幕内側のゴムフックを外してください。
4. 天幕四隅のマジックテープで固定されている部分をめくり、4箇所のストッパーリングを引き、ロックを解除してください。
- ⚠️注意 しっかりフレームを押さえていませんと、指をはさむ恐れがあります。
5. 天幕を取り外し、フレームを浮かせながら手や指をはさまないように最後までゆっくりと縮めてください。
6. フレームをキャリーバック、天幕を天幕袋に収納して付属品の数を確認した上で収納して完了です。

## ●メンテナンスについて●

- ① 収納時は天幕やフレームの汚れを落とし、よく乾かした上で収納してください。天幕の汚れがひどくなると美観を損なう他、耐候性・耐久性が悪くなります。定期的には中性洗剤で汚れを落とし水洗いを行ってください（シンナーやアルコール類は素材や生地を傷めるので絶対に使用しないでください）。天幕は取り外して収納しますと磨耗する機会が少なくなり長持ち致します。
- ② 塗装部に剥がれや錆を発見した場合は、早期に塗装、補修をしてください。
- ③ 各部ボルト、ネジ等の弛みが無いが定期的にチェックを行い、弛みがあった場合は \_\_\_\_\_ 等で締め付けてください。
- ④ 生地製品は経年劣化してきますので天幕は定期的に防水スプレーや目止液、傷・穴開きにはシーラー剤等を使用して補修を行ってください。

## ●保管場所について●

- ① 本製品は直射日光を避け、雨などがあたらないような風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。



部材名称	番号	部材名称	番号	部材名称	番号	部材名称	番号
トラスバー	①	アウターキャップJ2P	⑥	ドームキャップJ	⑪	スナップボタン	⑯
アウターレグ	②	スライダー-J2P	⑦	ピークストップJ	⑫	ボルト	⑰
インナーレグ	③			ピークスライダー-J	⑬	ボルト&ナットセット	⑱
ピークストップ	④			ボルトキャップ	⑭	ロックピン	⑲
ピークボール	⑤	トラスキャップJ	⑩	パッド	⑮		

※インナーレグは ベースパッド付き

※ スライダー-J2P、スライダー-J3Pはロックピン付き

仕様

商品番号	テントサイズ	間口	奥行	高さ	収納寸法
C1818	120×180	180	180	277~293	24×24×125
C1827	180×270	270	180	277~293	24×31×125
C2424	240×240	240	240	277~293	24×24×125
C2436	240×360	360	240	277~293	24×31×125
C2754	270×540	540	270	322~353	24×41×155
C3030	300×300	300	300	322~353	24×24×155
C3045	300×450	450	300	322~353	24×31×155
C3060	300×600	600	300	322~353	24×41×155

単位cm

	キャラバンスチール	キャラバンアルミ	キャラバンステンレス
フレーム	硬質スチール使用	アルミ素材使用	ステンレス素材使用
	ハンマートン焼付塗装	アルマイトコーティング	ステンレス鋼不動態皮膜
接合部	グラスファイバー+ナイロン6化合物		
天幕素材	ポリエステル100% 500D、生地		
	防炎加工、UVカット剤塗布処理		
付属品	防炎加工(裏面ポリウレタン塗布)		
	キャリーバック・天幕収納袋・ペグ4本・ロープ4本		
オプション	1方横幕・加重プレート・砂袋・スティックキャリー		

株式会社 キャラバンジャパン

■お問い合わせ、ご用命は・・・

〒344-0014 埼玉県春日部市豊野町1-14-3 TEL048-731-1777・FAX048-733-1797

mail: caravan@mountain.ocn.ne.jp